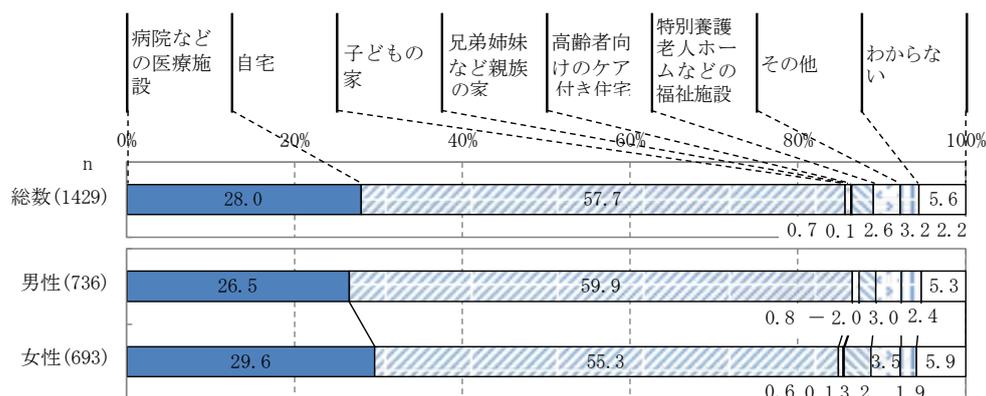


(5) 配偶者に最期を迎えさせたい場所 (Q26) 配偶者と同居している層に対し、「配偶者が、治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えさせたいか」についてたずねたところ、総数で、最も多いのは「自宅」で57.7%である。次いで「病院などの医療施設」が28.0%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」は3.2%、「高齢者向けのケア付き住宅」は2.6%などとなっている。

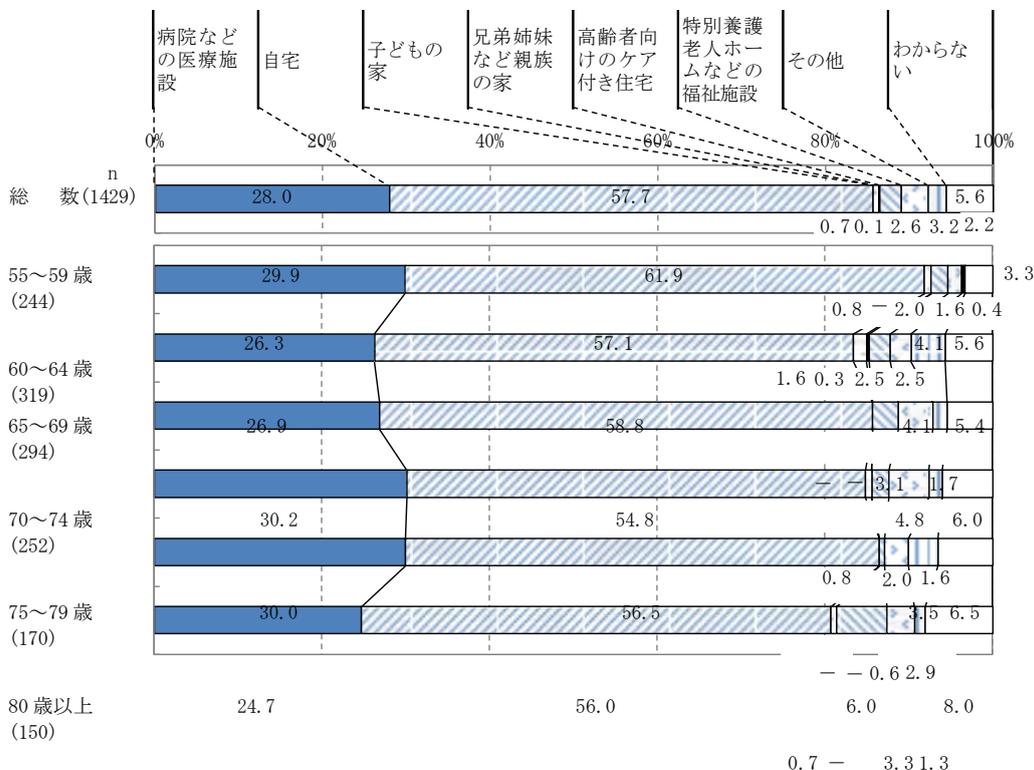
性別にみると、「自宅」は女性の55.3%よりも男性の59.9%の方が、「病院などの医療施設」は男性の26.5%よりも女性の29.6%の方が高くなっているが、本人の最後を迎えたい場所 (Q25) と比較すると、割合の差は小さくなっている。

図3-5-1 性別にみた配偶者に最期を迎えさせたい場所



年齢階級別にみると、「自宅」は55~59歳で61.9%とやや高くなっている。

図3-5-2 年齢階級別にみた配偶者に最期を迎えさせたい場所



#### <総数>

子どもの有無別にみると、「自宅」は子どもがいる人(57.5%),子どもがいない人(63.0%)で,子どもがいない人の方が高い。

現在の健康状態別にみると,「病院などの医療施設」は,「良くない(再掲)」(「あまり良くない」と「良くない」を合わせた割合)(31.8%)でやや高くなっている。

#### <55~59歳>

性別でみると,「自宅」は女性(57.4%)よりも男性(67.6%)の方が高く,「病院などの医療施設」は男性(22.2%)よりも女性(36.0%)の方が高くなっている。

#### <60歳以上>

性別でみると,「自宅」は女性(54.8%)よりも男性(58.6%)の方が高いが,55~59歳と比べると割合の差は小さくなっている。

現在の健康状態別にみると,「自宅」は「良い(再掲)」(「良い」と「まあ良い」を合わせた割合)(60.6%)で,「病院などの医療施設」は「良くない(再掲)」(32.0%)でやや高くなっている。

表3-5-1 属性別にみた配偶者に最期を迎えさせたい場所

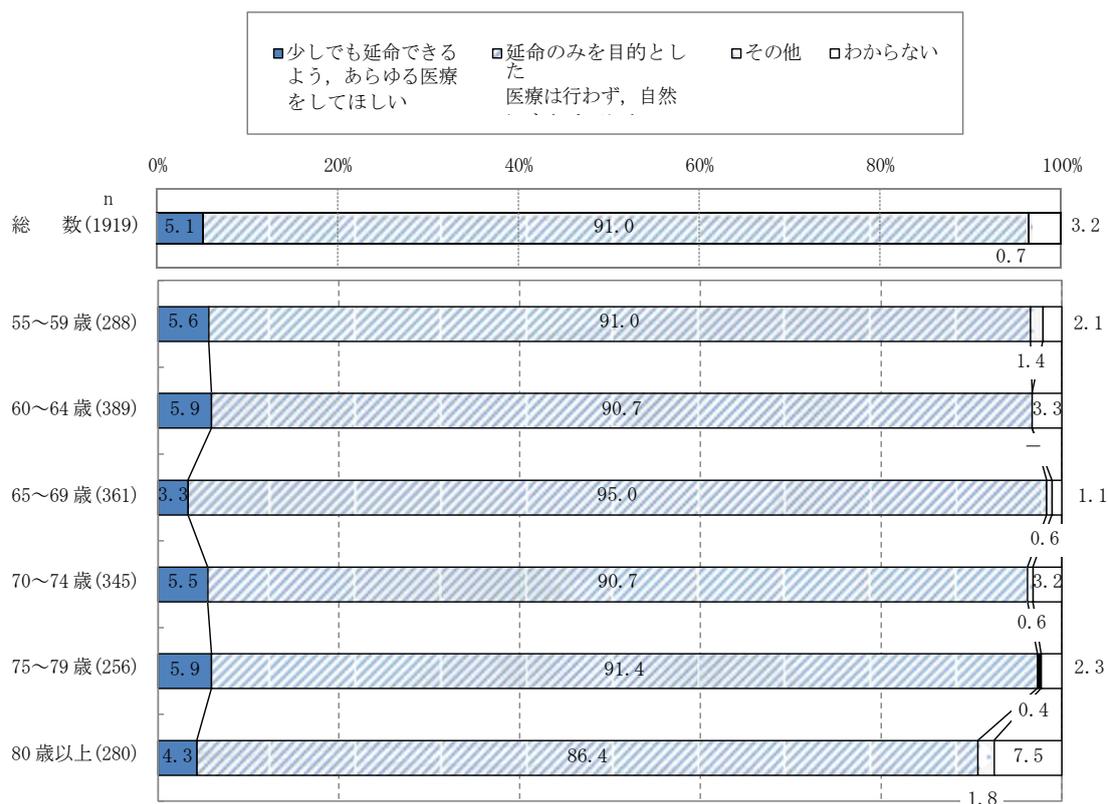
(単位：%)	該当者数	病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹など親族の家	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホームなどの福祉施設	その他	わからない
総数	1429	28.0	57.7	0.7	0.1	2.6	3.2	2.2	5.6
〔性別〕									
男性	736	26.5	59.9	0.8	-	2.0	3.0	2.4	5.3
女性	693	29.6	55.3	0.6	0.1	3.2	3.5	1.9	5.9
〔年齢別〕									
55～59歳	244	29.9	61.9	0.8	-	2.0	1.6	0.4	3.3
60～64歳	319	26.3	57.1	1.6	0.3	2.5	2.5	4.1	5.6
65～69歳	294	26.9	58.8	-	-	3.1	4.1	1.7	5.4
70～74歳	252	30.2	54.8	0.8	-	2.0	4.8	1.6	6.0
75～79歳	170	30.0	56.5	-	-	0.6	2.9	3.5	6.5
80歳以上	150	24.7	56.0	0.7	-	6.0	3.3	1.3	8.0
65歳以上(再掲)	866	28.1	56.7	0.3	-	2.8	3.9	2.0	6.2
75歳以上(再掲)	320	27.5	56.3	0.3	-	3.1	3.1	2.5	7.2
〔子どもの有無〕									
いる	1375	28.1	57.5	0.7	0.1	2.6	3.3	2.3	5.5
いない	54	24.1	63.0	-	-	1.9	1.9	-	9.3
〔現在の健康状態〕									
良い	469	28.4	61.4	0.6	-	2.3	2.6	2.1	2.6
まあ良い	321	26.5	59.8	0.6	-	0.9	2.2	2.5	7.5
良い(再掲)	790	27.6	60.8	0.6	-	1.8	2.4	2.3	4.6
普通	422	26.8	55.9	0.9	-	3.8	3.8	1.9	6.9
あまり良くない	190	31.6	48.9	0.5	0.5	3.7	5.8	2.1	6.8
良くない	27	33.3	55.6	-	-	-	-	3.7	7.4
良くない(再掲)	217	31.8	49.8	0.5	0.5	3.2	5.1	2.3	6.9
〔55～59歳〕									
総数	244	29.9	61.9	0.8	-	2.0	1.6	0.4	3.3
〔性別〕									
男性	108	22.2	67.6	1.9	-	2.8	0.9	0.9	3.7
女性	136	36.0	57.4	-	-	1.5	2.2	-	2.9
〔子どもの有無〕									
いる	233	30.5	61.4	0.9	-	2.1	1.7	0.4	3.0
いない	11	18.2	72.7	-	-	-	-	-	9.1
〔現在の健康状態〕									
良い	109	33.9	61.5	0.9	-	2.8	-	-	0.9
まあ良い	52	30.8	61.5	-	-	-	1.9	-	5.8
良い(再掲)	161	32.9	61.5	0.6	-	1.9	0.6	-	2.5
普通	63	22.2	60.3	1.6	-	3.2	4.8	1.6	6.3
あまり良くない	17	29.4	70.6	-	-	-	-	-	-
良くない	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
良くない(再掲)	20	30.0	70.0	-	-	-	-	-	-
〔60歳以上〕									
総数	1185	27.6	56.8	0.7	0.1	2.7	3.5	2.5	6.1
〔性別〕									
男性	628	27.2	58.6	0.6	-	1.9	3.3	2.7	5.6
女性	557	28.0	54.8	0.7	0.2	3.6	3.8	2.3	6.6
〔子どもの有無〕									
いる	1142	27.7	56.7	0.7	0.1	2.7	3.6	2.6	6.0
いない	43	25.6	60.5	-	-	2.3	2.3	-	9.3
〔現在の健康状態〕									
良い	360	26.7	61.4	0.6	-	2.2	3.3	2.8	3.1
まあ良い	269	25.7	59.5	0.7	-	1.1	2.2	3.0	7.8
良い(再掲)	629	26.2	60.6	0.6	-	1.7	2.9	2.9	5.1
普通	359	27.6	55.2	0.8	-	3.9	3.6	1.9	7.0
あまり良くない	173	31.8	46.8	0.6	0.6	4.0	6.4	2.3	7.5
良くない	24	33.3	54.2	-	-	-	-	4.2	8.3
良くない(再掲)	197	32.0	47.7	0.5	0.5	3.6	5.6	2.5	7.6

(6) 自分についての延命治療に対する考え方 (Q27)

「自分自身の病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命のための治療を受ける」ことについてたずねたところ、総数で、大半を占めるのは「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が91.0%である。「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は5.1%であった。

年齢階級別にみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は65～69歳で95.0%とやや高くなっている。

図3-6-1 自分についての延命治療に対する考え方



<総数> 性別では、大きな差はみられない。

世帯構成別では、大きな差はみられない。

現在の仕事別にみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は農林漁業で12.3%と高い。

<55～59歳>

性別でみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は、男性（88.1%）と、女性（93.2%）で女性の方がやや高くなっている。

世帯構成別にみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は二世帯世帯（本人と子）で95.1%とやや高い。

<60歳以上>

性別では、大きな差はみられない。現在の仕事別にみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は農林漁業で13.0%と高くなっている。「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は契約・派遣・臨時・パートで94.9%とやや高い。

表3-6-1 属性別にみた自分についての延命治療に対する考え方(1)

(単位：%)	総数	少しでも延命できるように、あらゆる医療をしてほしい	延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい	その他	わからない
総数	1919	5.1	91.0	0.7	3.2
〔性別〕					
男性	865	6.0	89.7	1.2	3.1
女性	1054	4.3	92.1	0.4	3.2
〔年齢別〕					
55～59歳	288	5.6	91.0	1.4	2.1
60～64歳	389	5.9	90.7	-	3.3
65～69歳	361	3.3	95.0	0.6	1.1
70～74歳	345	5.5	90.7	0.6	3.2
75～79歳	256	5.9	91.4	0.4	2.3
80歳以上	280	4.3	86.4	1.8	7.5
65歳以上(再掲)	1242	4.7	91.1	0.8	3.4
75歳以上(再掲)	536	5.0	88.8	1.1	5.0
〔世帯構成〕					
一人暮らし	213	2.8	92.5	0.9	3.8
夫婦のみ世帯	712	4.8	91.2	0.8	3.2
二世帯世帯	621	6.0	90.3	0.6	3.1
(本人と子)	553	6.0	90.2	0.5	3.3
(本人と親)	68	5.9	91.2	1.5	1.5
三世帯世帯	293	5.5	91.5	0.7	2.4
その他の世帯	79	5.1	89.9	-	5.1
〔現在の仕事〕					
農林漁業	81	12.3	86.4	-	1.2
自営業	199	2.5	93.0	0.5	4.0
常勤の被雇用者	201	3.5	92.0	1.0	3.5
会社の嘱託や顧問等	50	4.0	96.0	-	-
契約・派遣・臨時・パート	224	4.0	93.3	0.9	1.8
内職	4	-	100.0	-	-
その他	9	11.1	88.9	-	-
有職(再掲)	768	4.4	92.3	0.7	2.6
仕事はしていない	1151	5.5	90.2	0.8	3.6
【55～59歳】					
総数	288	5.6	91.0	1.4	2.1
〔性別〕					
男性	126	6.3	88.1	3.2	2.4
女性	162	4.9	93.2	-	1.9
〔世帯構成〕					
一人暮らし	15	-	93.3	6.7	-
夫婦のみ世帯	66	3.0	89.4	1.5	6.1
二世帯世帯	159	5.0	93.7	1.3	-
(本人と子)	123	4.1	95.1	0.8	-
(本人と親)	36	8.3	88.9	2.8	-
三世帯世帯	30	16.7	83.3	-	-
その他の世帯	17	5.9	82.4	-	11.8
〔現在の仕事〕					
農林漁業	12	8.3	91.7	-	-
自営業	41	2.4	90.2	2.4	4.9
常勤の被雇用者	108	3.7	92.6	1.9	1.9
会社の嘱託や顧問等	6	-	100.0	-	-
契約・派遣・臨時・パート	47	6.4	87.2	2.1	4.3
内職	1	-	100.0	-	-
その他	3	-	100.0	-	-
有職(再掲)	218	4.1	91.3	1.8	2.8
仕事はしていない	70	10.0	90.0	-	-

表3-6-1 属性別にみた自分についての延命治療に対する考え方(2)

	総数	少しでも延命できるように、あらゆる医療をしてほしい	延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい	その他	わからない
(単位：%)					
【60歳以上】					
総数	1631	5.0	91.0	0.6	3.4
〔性別〕					
男性	739	6.0	90.0	0.8	3.2
女性	892	4.1	91.9	0.4	3.5
〔世帯構成〕					
一人暮らし	198	3.0	92.4	0.5	4.0
夫婦のみ世帯	646	5.0	91.3	0.8	2.9
二世帯世帯	462	6.3	89.2	0.4	4.1
（本人と子）	430	6.5	88.8	0.5	4.2
（本人と親）	32	3.1	93.8	-	3.1
三世帯世帯	263	4.2	92.4	0.8	2.7
その他の世帯	62	4.8	91.9	-	3.2
〔現在の仕事〕					
農林漁業	69	13.0	85.5	-	1.4
自営業	158	2.5	93.7	-	3.8
常勤の被雇用者	93	3.2	91.4	-	5.4
会社の嘱託や顧問等	44	4.5	95.5	-	-
契約・派遣・臨時・パート	177	3.4	94.9	0.6	1.1
内職	3	-	100.0	-	-
その他	6	16.7	83.3	-	-
有職（再掲）	550	4.5	92.7	0.2	2.5
仕事はしていない	1081	5.2	90.2	0.8	3.8

65 歳以上について、時系列にみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は、平成 14 年度調査で 81.1%、平成 19 年度調査で 87.7%、今回調査で 91.1% と高くなっているが、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は、平成 14 年度調査で 9.2%、平成 19 年度調査で 7.4%、今回調査で 4.7% と低くなっている。また、「わからない」も同様である。

図 3-6-2 時系列にみた自分についての延命治療に対する考え方

